災害見舞金支給調査書

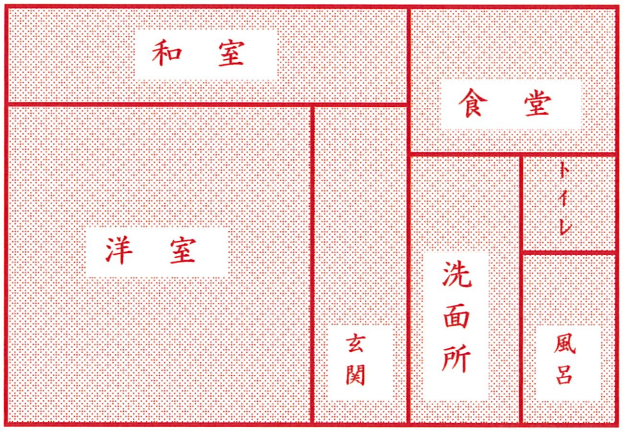
組合員氏名	共済　太郎	り災日時	自 平成・令和 ○○年△△月××日14時
組合員記号番号	９９９－９９９９		至 平成・令和 ○○年△△月××日15時
り災の場所	○○市△△１丁目２番３号		
り災の状況及びその顛末	外出中に出火し、全焼したもの		

り災の程度

住居又は家財の名称		見積額 り災前（円）	見積額 損害（円）	り災率（%）	備考
住居		15,000,000	15,000,000	１００	
家財	家具	2,000,000	2,000,000	１００	
	衣類	2,200,000	2,200,000	１００	
	その他	1,000,000	1,000,000	１００	
	計	5,200,000	5,200,000	１００	
認定		給料の　3　ヶ月分			

り災状況の写真又は見取図

（斜線は焼失部分）



調査年月日	年　月　日
調査担当者職氏名	
調査立会人職氏名	
備考	

理事長	事務局長	課長	課長補佐 主幹	課員

備考
1．「り災状況及びその顛末」欄は写実的に具体的に記入のこと。
2．り災の程度「備考」欄には住居の構造を記入のこと。
3．家財の名称欄は、家具、衣類等主要なものとし、その他はその合計額により記入のこと。
4．浸水の程度により、損害の程度を認定する場合は住居と家財を包含して適用し、住居について2階以上の場合は、その階数を備考欄に記入のこと。
5．見積額は社会通念による時価とすること。

(R1. 5)

災害実情調査明細書

調査者氏名　　印

組合員証記号番号	999-9999	組合員氏名	共済　太郎	現住所	○○市△△１丁目２番３号

（一）　住居

（１）区分　１・(イ)自家　(ロ)借家（借間、下宿）　(ハ)官公営住宅　(ニ)貸家　(ホ)事務所、店舗

２・(A)組合員のみ住んでいた。　(B)組合員と被扶養者が住んでいた。　(C)被扶養者のみ住んでいた。

（２）り災前の状況（家屋の構造、坪数、時価等明記のこと。但し上記区分（ニ）（ホ）は除外すること）

木造平屋　３０坪　時価１５００万円

（３）り災状況（（２）に掲げるものの中、滅焼失破壊した個所、坪数及び時価を明記すること）

全焼

（二）　家財

（１）区分　主として組合員及び被扶養者の所有物であって且つ、地方公務員として社会生活を営む上に於いて必要な家財のみを指し、従って農機具、商品、貸家等は含まない。又、被扶養者でない家族と同居している場合は例えば炊事具その他家具等の家財は組合員の所有物でなくとも日常生活を営む上の必需品であるので家財とする。

（２）り災前の状況（全家財記入のこと）

品　目	点数	時　価	品　目	点数	時　価	品　目	点数	時　価	品　目	点数	時　価
	別紙のとおり										

（３）り災状況（損失家財のみ記入のこと）

品　目	点数	時　価	品　目	点数	時　価	品　目	点数	時　価	品　目	点数	時　価
	別紙のとおり										

注　（１）　住居の価格は、固定資産税の算出基礎額並びに時価を勘案して計上すること。
（２）　家財は各区科別を更に細分し、品目、点数、時価を詳細に記入のこと。
（３）　浸水等で上記により難いときは浸水時の状況水位（床上　　メートル）等を別紙に作成のこと。
（４）　本調査明細書を集計して別紙「り災事実調査書」のり災の程度欄に計上すること。

(R1. 5)